

今すぐはじめよう

情報モラル教育を！

広教ニュースレター

創刊号

広教 2009. 3

HIROKYO 広島県教育情報開発センター

<http://www.hirokyou.co.jp>

今、子どもたちの間では、ネットの利用の爆発的な増加に伴って、ケータイにまつわる友達同士のトラブル、ブログ・掲示板での誹謗中傷など、様々な問題が発生しています。こうした問題への対処は、教師も保護者もかつて経験したことがありません。創刊号は、事例で学ぶ「情報モラル」企画監修のメディア教育開発センター准教授堀田龍也先生のお話です。



独立行政法人
メディア教育開発センター
准教授 堀田龍也

思っている以上にメディアに
浸っている子どもたち！

大人が思っている以上に、子どもたちはメディアに浸った生活をしています。テレビのバラエティー番組、ゲーム機の氾濫、インターネット上の掲示板、ケータイによる友達たちの情報交換・・・これらはもはや日常茶飯事です。例えば大人の私たちも、朝起きたらテレビのスイッチを入れ、旅行に行く前にはインターネットで調べ、時には友人と長電話をします。仕事上でもプライベートでも、メールチェックは不可欠。私たちもまたメディアに浸った毎日を過ごしているのです。

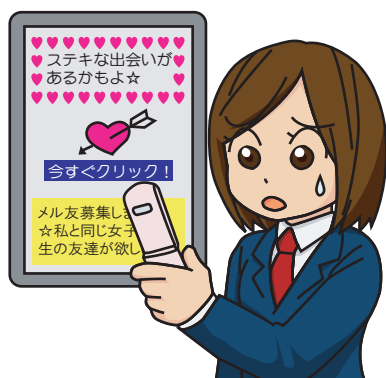
しかし、私たち大人のメディア接触と子どもたちのメディア接触とは、違う部分があります。

ある怪しげな情報があったとき、私たち大人がそれを疑って見ることができるのは、日々の生活で獲得したさまざまな常識が備わっているからです。

それらの常識は、これまで長い時間をかけて獲得してきたものであり、親から子へ受け継がれ、学校で教えられてきました。

ネットの常識を社会の常識だと勘違いしてしまう！

もちろん現代の子供たちも、親や学校から常識を学びます。しかし、常識を学んでいる途上にも関わらず、すでにたくさんメディアに接触してしまっています。子どもたちは、それらのメディアで起こっている現実を見て、それを常識だと学習してしまう可能性があります。特にネット上では、大人から見てもふさわしくない非社会的・反社会的な行為がたくさん見られますが、子どもたちはこれを常識だと勘違いしていく可能性があるのです。



学校教育の中で「情報モラル」教育を！

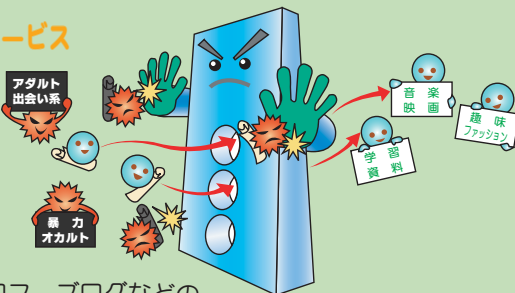
だからこそ、今、情報モラル教育が必要で。情報モラルは、本来的には、子どもたちがメディア体験を重ねるうちに、

知ってますか？ ネット用語

① フィルタリングサービス

フィルタリングサービスは、インターネットの有害なサイトなどへのアクセスを制限する機能です。

アダルト、違法薬物売買などの違法サイトや、掲示板、ブログ、プロフ、コミュニケーションサイトの閲覧をブロックすることができます。コミュニケーションサイトには安全なものもありますが、その判断は大変難しく、有害なサイトに子供たちを誘導する手口は、年々悪質化、巧妙化しています。子供たちが様々な被害に遭わないためにも、フィルタリングサービスを利用するようにしましょう。



次第に学び取っていかないと私は思っています。しかし、上記のような現実が横たわっている以上、子どもたちの気づきを待っているようでは教育が手遅れになってしまいます。すべての子どもたちに、最低限の情報モラルに関する知識や考え方を教えておくことは、彼らを健全な社会人として育て、情報社会を望ましく形成していくために、学校教育が手を出すべき重要な教育行為です。学校教育がこれを放棄したら、子どもたちは危険な世の中を形成してしまう張本人になってしまいます。これからの情報社会と、情報社会を担うすべての子どもたちを望ましい方向に導くのは情報モラル教育です。一刻も早くすべての教室で、すべての先生によって行われることを切に願っています。

「Netモラルで授業」

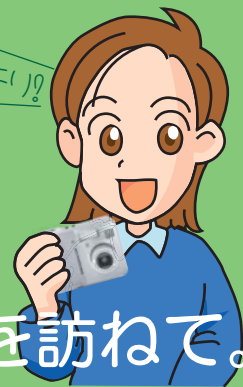
岡山市立藤田中学校

<http://www.city-okayama.ed.jp/~fujitac/>

学校

を訪ねて。

授業をパチリ!



岡山県岡山市にある藤田中学校(平松 茂 校長)は、岡山市南部に位置し、のどかな田園に囲まれた自然いっぱいの学校です。生徒数は250人。授業時間外に外部講師を招いて、お茶や英会話を楽しんだり、アナウンサーから話し方を学んだりする“放課後サロン”や部活動、地域の方々と取り組む“花いっぱい運動”、保育園での“自作絵本の読み聞かせ”など、生徒たちが主体的なボランティア活動に取り組んでおり、ホームページも充実している学校です。

その藤田中学校で【事例で学ぶNetモラル】を活用した「情報モラル」の授業を取材してきました。♪取材日：平成20年10月22日

授業の様子

活用した映像クリップ：プロフ「女の子だと思っていたら…」

導入

◆導入映像クリップを視聴する



1. 先生の問いかけに答える。

プロフを知っていますか？

2. プロフ「女の子だと思っていたら…」の映像クリップを視聴する。

ストーリー

「たかこ」がプロフを楽しんでいたから、仲良くなった「みずえ」から会いたいと言われた。迷っていると、“会ってくれなければメールアドレスや名前を公開する”と脅される。実は「みずえ」は男だった。

展開

◆ワークシートに「たかこ」の気持ちや自分の考えを記入後、話し合う



3. ワークシートに記入する。

「みずえ」のメールを見たとき、「たかこ」はどんな気持ちになったでしょう？

- ・信頼できる人だから、会って話がしたい
- ・相談にのってもらっているから、会ってもいい
- ・相談はしているけど、会うとなると不安

どうして個人情報「みずえ」に伝わったと思いますか？

- ・自分から名前を教えた
- ・メール交換をしたから

“なりすまし”を信じたのはなぜでしょう？

- ・相談にのってくれて、頼りになる存在 ←ココがポイント

4. 話し合いで友だちの意見を聞きながら、自分の考えを深める。

自己紹介サイトに載せてはいけないことはどんなことでしょうか？

まとめ

◆まとめの映像クリップを視聴する



5. コンテンツの「まとめ」の映像を視聴し、気を付ける点などの理解を深める。

- ・便利な道具として使うこと
- ・責任を持って使う
- ・世界中に広がり、被害も大きくなること

生徒の感想

- ・文字だけだとやさしい感じがして、女の子だと信じたと思う。
- ・私も信用してしまうかもしれない。でも、安易に会いに行かない。
- ・相談にのってくれるからといっても信用できない。

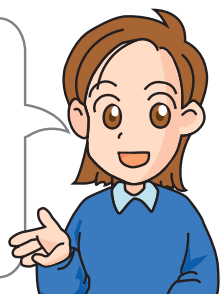
授業を終えて



岡山市立藤田中学校
水川基員 教諭

- ポイントとなる場面で止めたり、ストーリーを振り返ったりしながら授業を進めました。
- 他のクラスでは“親切に相談に乗ってくれる人であれば知らない人でも信頼できる”と答える生徒がいてビックリしました。
- ネット社会の特性を理解させることは本当に必要だと感じました。
- 個人情報の取り扱いや第三者の個人情報を許可なく載せてはいけないことを深く考えることができたと思います。

なるほど・・・。
使い方は分かっていても、やはり子どもたちは無防備！
私たち大人が「情報モラル」をしっかりと教える必要があるんですね♪



広教ニュースレターは、情報モラルや情報教育に関するニュースや授業実践、また最前線で活躍されている先生方の寄稿や対談などを掲載するニュースレターです。

広島県教科用図書販売株式会社
〒733-0032 広島県広島市西区東観音町15番12号
TEL 082-291-1088 FAX 082-291-1082
URL <http://www.hirokyou.co.jp> E-mail info-hiroshima@hirokyou.co.jp

広教
HIROKYO 広島県教科用図書販売株式会社